

令和元年度第1回学校評議員会記録

1 日 時 令和元年6月20日(木) 10:30～12:05

2 場 所 本校応接室

3 出席者 井上 孝之 評議員、 高瀬 哲敏 評議員、
小宮山 晴夫 評議員、 高村 光輝 評議員
片岡 順一 校長、 嶋 隆 副校長、 藤田 幸一 事務長、
勝又 慎介 教務主任、 三浦 穰 生徒指導主事、 及川 満 進路指導主事、
瀧口 千明 総務主任、 久保 幸 総務課担当

4 内 容

(1) 開会

(2) 委嘱状交付

(3) 校長挨拶並びに学校経営計画説明

* 自己紹介

(4) 学校概況説明

1 秩序ある生活態度の育成安全教育の徹底

(学校評議員)

- ・(交通安全指導に関して)登下校時の事故を防ぐために特に注意を要する箇所の周知を徹底してほしい。
- ・交通ルールを守っていない高校生が多い。加害者にならないための指導や交通モラルについての指導を引き続きお願いしたい。

2 主体的学習態度の育成と学力向上の推進

(学校評議員)

- ・学校経営計画取組方針の「家庭学習の習慣化による主体的学習態度の育成」と「授業第一主義による基礎・基本の徹底」の順番を逆にするべきではないか。アは家庭に求めるもの、イは学校の姿勢。
- ・(図書館の利用について)県立大などの大学図書館やアイーナの県立大の自習室などを生徒に紹介し、利用してほしい。

3 学習指導内容の精選と指導法の工夫・改善

(学校評議員)

- ・(学校経営計画の達成指標について)生徒と教員どちらの目標なのかが分かりにくい。
(2 主体的学習態度の育成と学力向上の推進の達成指標についても同様のことが言える。)

4 自己実現を見据えた進路指導の充実

(学校評議員)

- ・(岩手大学と県立大学への進学者が多いが、)他の大学についても知った上で、岩手大学や県立大学を志望してほしい。
- ・(達成指標「国公立大学合格者数130名」について)目標の立て方や表現の仕方に違和感がある。
- ・生徒が文理選択をする際に参考となる素材として、大学出前授業の実施をお願いしたい。

5 部活動の振興と生徒会活動の活性化

(学校評議員)

- ・(ボランティア活動について)日常的に、生徒がさまざまな活動に主体的に参加し、貢献感や社会的承認を得ながら地域とつながっていけばよいと思う。
- ・(具体的な取り組み内容について)生徒が自分の責任においてやるべきことを、教員が手取り足取りやってあげているという印象を強く受ける。生徒自身がやろうとしていることに対して手助けする、という姿勢が必要ではないか。

6 家庭・地域との連携と地域に開かれ、信頼される学校づくりの推進

(学校評議員)

- ・生徒が小学校へ出向いて合唱を披露するなど、交流してはどうか。

7 「チーム盛北」としての組織対応とコンプライアンス意識の醸成

(学校評議員)

- ・(コンプライアンス体験発表について)実効性はあるか、話すだけが目標になっていないか。負担にならないように回数を減らしてはどうか。
- ・文字にして発信すれば、地域にフィードバックでき、地域にとって学校が身近なものになるのではないか。

(5) 意見聴取

- ・大学との関わりだけでなく、小・中学校や地域とも連携しながら学校が運営されることを願っている。
- ・校舎が整備され、環境を大事にしていると感じた。
- ・自転車マナーはしっかりしている。
- ・生徒が自分自身の取り組みを分析する機会があれば、何をすべきかを自分で考えられるようになるのではないか。生徒の自主性が失われないよう、指導に気を配ってほしい。
- ・ワークライフバランスを大切に、負担を軽減して余裕を持って運営に取り組んでほしい。

(6) その他

なし

(7) 閉会